

(宝石を探し出す (10 分) 田中 克彦)

[詩 68:18](#) 神ヤハよ、あなたは高い所に昇り、 捕虜を連れ去りました。 人々という贈り物を取りました。 意地を張る人たちをも取りました。彼らの中に住むためです。

Q 古代のイスラエルにおいて「人々という贈り物」は誰を指していたか。

([塔06 6/1 10ページ5節](#)) これは、約束の地の征服の際にとりことになった人々から出た人たちです。その人たちは後に、レビ人を補佐する仕事を割り当てられました。

([塔 99 6/1 10 ページ 6- 7 節 エホバの羊を世話する「人々の賜物」](#)) 昇天したイエスは神の代理として、西暦 33 年のペンテコステ以降、「捕虜を連れ去 (る)」ことによってサタンの家を奪略しはじめました。そのとりことは、サタンの支配下で長いあいだ罪と死への奴隷状態にあった人たちのことです。こうした「捕虜」は自ら進んで「キリストの奴隷」として、「自分の全てを尽くして神の望むことを行い」ます。(エフェソス 6:6) イエスはいわばそうした人々をサタンの支配下からつかみ出し、エホバに代わって彼らを「人々という賜り物」として会衆に与えたのです。想像してみてください。サタンは、そのような人々を目の前で奪い取られてゆき、なす術もなく激怒しているのです。 ⁷ 今日、会衆内にそのような「人々という賜り物」はいるでしょうか。確かにいます。それらの人は長老として奉仕し、神の民の、全地の会衆で、『福音宣明者、牧者、教える者』として骨折って働いています。

Q 今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。

(66:10-12) 西暦 1914 年以来、エホバのクリスチャン証人の宗教上の迫害を経験してきたが、

間近な前途に類例のない世の苦難を控えています、憶せずにそれに立ち向かおう。

(68:13) ダビデは、エホバがご自分の民に得させた勝利について述べていた。

(68:30) ダビデは、エホバの民に敵対する人々を野獣に例え、その人々を叱責してくださるように、また危害を加える彼らの力を抑制してくださるようと神に求めました。

※注解を準備して下さったり、参加してくださった皆さんに感謝いたします。

	オリーブ	バルサム	アーモンド	アカシア
1	浮田蒼	星延宏	滝秀貞	竹林直毅
2	田中慶一	星佳代	大谷正	竹林亜矢子
3	田中麻美子	星拓哉	大谷恵美子	水品安章
4	田中克彦	吉田忍	有田悟	水品由美子
5	田中弘子	吉田明美	有田優子	伊藤勇一
6	米山英行	長谷川貴史	阿部直生	伊藤本子
7	金刺桂子	長谷川瑛一	有川聖七	宮崎倫子
8	金刺由里子	田島智子	枝並あや子	石原小夜子
9	金刺亜以子	田島マヤ	枝並真菜	石原里佳
10	金目一郎	波多野信昭	福永和子	小島千晴
11	金目明美	波多野敬子	福永悦子	小島奈帆美
12	大坂典子	柴田まり子	荻原幸子	高橋綾子
13	高橋節子	柴田さつき	横山さち子	杉本千花子
14	杉山みどり	布川志津	米山京子	中田由美
15	長谷川裕美子	川島みさ子	居松広子	奥村由美
16	長谷川真穂	向山公康	安齋麻理	庄司祐子
17		平山優子	下野輝行	
18		宮城ひかる		